

伊勢湾貧酸素情報（第 7 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

これまで伊勢湾の底層に形成されていた 2 mg/L 以下の貧酸素水塊は消滅しました。

12 月 11 日の調査結果

12 月 11 日の漁業調査船「あさま」の浅海定線観測によると、水温は表層で 13.6～15.3℃、10m で 14.3～15.5℃、底層で 14.4～17.2℃の範囲にあり、表層は平年並、10m 及び底層は平年よりやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 7.0～8.4 mg/L、10m で 7.2～8.3mg/L、底層で 5.0～7.9 mg/L の範囲にあり、表層、10m、底層共に平年並となっていました。

今回の観測では、貧酸素水塊は消滅しており、上下層の海水の混合も進んでいたことから、今期の貧酸素水塊の発生は終息したものとみられます。



底層貧酸素水塊分布図